

西都原古墳群とは



出典 西都原考古博物館

〈西都原古墳群について〉

西都原古墳群は、東西2.6km南北4.2km標高^{ひょうこう}50m～80mの西都原台地^{さいとばるだいち}に立地^{りっち}する3世紀～7世紀に築造^{ちくぞう}された古墳のまとまりです。

3世紀～7世紀を古墳時代といい、当時の大王^{おおきみ}や豪族^{ごうぞく}の長の墓^{たかづか}が古墳です。311基の高塚^{たかづか}をもつ古墳があります。

昭和27年に国の特別史跡に指定され、史跡公園^{しせきこうえん}として公開^{こうかい}されています。非常にめずらしい子持家形埴輪^{こもちえがたはにわ}や舟形埴輪^{ふながたはにわ}などが出土^{しゅつど}しており、全国^{ぜんこく}の古墳群の中でもその広さや古墳の特徴^{しゅつどひん}で全国有数^{ぜんこくゆうすう}の古墳群として知られています。

古墳の形・築造^{しゅつどひん}の仕方・出土品^{そせん}は、わたしたちの祖先^{そせん}の生活や交流の仕方などを教えてください。